(19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-364764

(43)公開日 平成4年(1992)12月17日

(51) Int.Cl.⁵

識別記号 庁内整理番号 FΙ

技術表示箇所

H01L 23/29

7220 - 4M

H 0 1 L 23/36

Α

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号

特願平3-139322

(71)出願人 000002369

(22)出願日

平成3年(1991)6月12日

セイコーエプソン株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

(72)発明者 宮尾 哲郎

長野県諏訪市大和3丁目3番5号セイコー

エプソン株式会社内

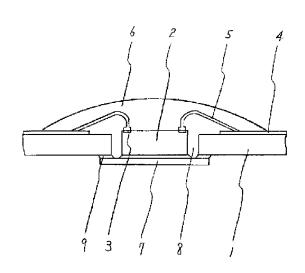
(74)代理人 弁理士 鈴木 喜三郎 (外1名)

(54) 【発明の名称】 COB実装の構造

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、回路基板および封止樹脂が半導体 装置の発熱により、損傷することがない、COB実装の 構造を提供することを目的とする。

【構成】 回路基板上に半導体装置を実装してなる電子 機器におけるCOB実装の構造において、前記回路基板 に放熱性を有する放熱部材を形成するとともに、前記放 熱部材に半導体装置を直接固着したことを特徴とするC OB実装の構造。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】回路基板上に半導体装置を実装してなる電 子機器における、COB(チップオンボード)実装の構 造において、前記回路基板に放熱性を有する放熱部材を 形成するとともに、前記放熱部材に半導体装置を直接固 着したことを特徴とするCOB実装の構造。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、回路基板上に半導体装 置を実装してなる電子機器における、COB実装の構造 10 が実現できる。 に関する。

[0002]

【従来の技術】電子機器用の回路基板における半導体装 置の実装は、ベアチップ実装(ICチップを直接回路基 板上に搭載し、周辺回路と接続する実装)がその主流を なしている。

【0003】従来のベアチップ実装は、おもにCOB実 装が用いられている。

【0004】以下に従来の技術を図面にもとづいて説明 する。図4は、従来のCOB実装の構造を示す断面図で ある。回路基板1上に搭載され、接着剤9により固着さ れた I Cチップ2上の接続パッド3と回路基板1上の接 続用パッド4とが金などの金属細線5により接続され、 ICチップ2および金属細線5が樹脂6により封止され ている。すなわち従来のCOB実装は、放熱構造が施さ れていなかった。

[0005]

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来のCOB 実装の構造では、高温発熱する半導体装置の実装は、回 あるいは発煙・発火などで損傷・破壊するとされ、該半 導体装置のCOB実装は不可能とされていた。

【0006】そこで本発明は、このような問題点を解決 するもので、回路基板に放熱性を有することにより、回 路基板および封止樹脂が半導体装置の発熱により損傷す ることがない、COB実装の構造を提供することを目的 とする。

[0007]

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するた め、本発明のCOB実装の構造は、回路基板に放熱性を 40 有する放熱部材を形成するとともに、前記放熱部材に半 導体装置を直接固着したことを特徴とする。

[0008]

【実施例】以下に、本発明の実施例を図面もとづいて説 明する。

【0009】図1は、本発明の実施例を示す断面図であ る。 開口部 8 を設けた回路基板 1 の下面に、放熱部材で あるアルミ、鉄等の金属から形成される放熱板7がエポ キシあるいはシリコンゴム等の接着剤9により、回路基 板1に固着されている。回路基板1の上方より、放熱板 50

7上にICチップ2が搭載固着され、ICチップ2上の 接続パッド3と回路基板1上の接続パッド4とが金など の金属細線5により接続され、ICチップ2および金属 細線5を樹脂6で封止する構造となっている。この様な COB実装の構造を用いると、高温発熱するICチップ をCOB実装した場合でも、放熱部材を介して、ICチ ップの熱が大気に放熱されるため、回路基板および封止 樹脂がICチップの高温発熱により、損傷・破壊される ことがなくなり、高温発熱するICチップのCOB実装

【0010】図2には、本発明の別の実施例の斜視図を 示す。この実施例は、放熱部材である金属から形成され る放熱板7の、回路基板への取付面と異なる面を凹凸に 形成し、表面積を大きくすることにより、放熱効果がさ らに助長されるという特徴を有する。

【0011】尚、図1および図2で示した本実施例の放 熱部材の回路基板への固着は、本実施例ではエポキシ、 シリコンゴム等の接着剤にて実施しているが、溶接ある いは締結等により固着しても、同様な効果が得られる。

【0012】図3には、本発明のさらに別の実施例の断 面図を示す。この実施例は、回路基板1の製作加工工程 において、あらかじめ放熱部材である放熱パターン10 の形成を、エッチング等による配線パターン形成時に同 時に行うものである。回路基板制作加工工程時に放熱部 が形成されるため、COB実装の加工工程で放熱部材を 固着する必要がなく、加工工程が単純化されるという特 徴も有する。

[0013]

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば回路 路基板および封止樹脂が半導体装置の発熱により、発砲 30 基板に放熱性を有する放熱部材を形成するとともに、前 記放熱部材に半導体装置を直接固着し、高温発熱する半 導体装置をCOB実装した場合においても、回路基板お よび封止樹脂が半導体装置の発熱により、発泡あるいは 発煙・発火などで損傷・破壊することがなくなり、高温 発熱する半導体装置のCOB実装を実現できるという効 果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例のCOB実装の構造を示す断面 図である。

【図2】本発明の別の実施例を示す斜視図である。

【図3】本発明のさらに別の実施例を示す断面図であ る。

【図4】従来のCOB実装の構造を示す断面図である。 【符号の説明】

- 回路基板
- 2 ICチップ(半導体装置)
- 3 ICチップの接続パッド
- 回路基板の接続パッド 4
- 接続用金属細線 5
- 樹脂

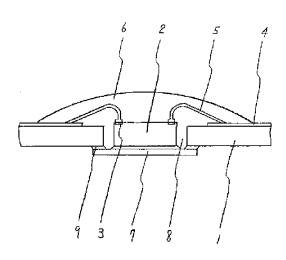
3

- 7 放熱板
- 8 回路基板の開口部

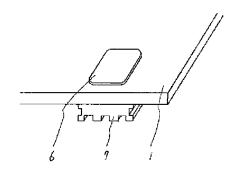
9 接着剤

10 放熱パターン

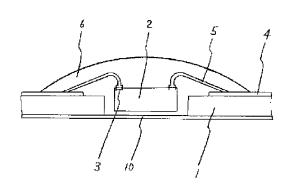
【図1】



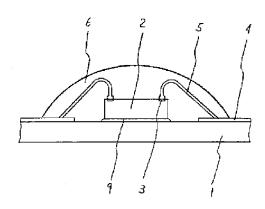
【図2】



【図3】



[図4]



PAT-NO: JP404364764A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04364764 A

TITLE: STRUCTURE OF COB MOUNTING

PUBN-DATE: December 17, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY

MIYAO, TETSUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

SEIKO EPSON CORP N/A

APPL-NO: JP03139322

APPL-DATE: June 12, 1991

INT-CL (IPC): H01L023/29

ABSTRACT:

PURPOSE: To realize a COB(chip-on-board) mounting operation wherein a circuit board and a sealing resign are not damaged by heat generated by a semiconductor device by a method wherein a heat-dissipating member provided with a heat-dissipating property is formed on the circuit board and the semiconductor device is fixed and bonded directly to the semiconductor device.

CONSTITUTION: A heat sink 7 which is composed

of a metal such as aluminum, iron or the like as a heat-dissipating member is formed on the rear surface of a circuit board 1 in which an opening part 8 has been made; it is fixed and bonded to the circuit board 1 by using an adhesive. An IC chip 2 is mounted on, fixed and bonded to the heat sink 7 from the upper part of the circuit board 1; connecting pads 3 on the IC chip 2 are connected to connecting pads 4 on the circuit board 1 by metal interconnections 5; this assembly is sealed with a resin 6. Thereby, the circuit board and the sealing resin are not damaged and destroyed by eliminating bubbles, smoke or fire caused by heat generated by a semiconductor device, and the COB mounting operation of the semiconductor device can be realized.

COPYRIGHT: (C)1992, JPO&Japio